



特集

シリーズ③～町民の健康を守る
「まちの病院」の在り方を考える～

最上地域の医療について

P.4～9

9月号の目次

町議会の新しい顔ぶれ	P. 2 ～ 3
新しい県立新庄病院紹介	P. 10 ～ 11
コロナ禍を乗り越え二十歳へ	P. 12 ～ 13
ウェルネスメッセージ	P. 14 ～ 15

町議会の新しい顔ぶれ

※「選挙公報」掲載の公約(一部抜粋)とともにお伝えいたします。

～町民の代表者を紹介～(※議長、副議長以外は議席番号順)

議長



いとう かずお
伊藤 一雄 氏

73歳 鷲杉
当選12回 会社役員

議席番号 10

次世代に誇れるまちづくりを!

- ◆町内外の重要事業の整備促進
- ◆安心して住める生活環境の整備
- ◆観光、商工業の発展、充実
- ◆少子化問題、子育ての支援事業の確立
- ・総務文教常任委員
- ・最上広域市町村圏事務組合議会議員

暮らしに安心を



くりばやし ひろこ
栗林 浩子 氏

60歳 前森
当選1回 無職

議席番号 2

- ◆子供たちに夢を!
- ◆高齢者に生きがい!
- ◆働く世代に希望を!

みなさんの声を町政にお届けします。

- ・産業厚生常任委員
- ・広報編集委員

「人・地域を大切に」を信条に!



かん たかし
菅 孝 氏

60歳 東法田
当選2回 農業

議席番号 5

- ◆企業誘致・農、商、工、観光の発展と充実、教育の充実
- ◆結婚、子育て、教育と一連の流れを強く後押しします。高齢者、福祉対策
- ◆同居世帯への支援(介護)
- ◆一人二人暮らしの老人世帯への細やかな政策立案
- ・議会運営委員長
- ・産業厚生常任副委員長
- ・広報編集副委員長

少子高齢化・人口減少が進む中、監査委員十四年のキャリアを生かし持続可能な町づくりに全力で挑戦します。

- ◆生活基盤である産業の振興と育成
- ◆教育の充実と文化の香り高い町づくり
- ◆自助・共助・公助で地域福祉の実現
- ◆住民自治と行財政改革で真の協働のまちづくり
- ・総務文教常任副委員長
- ・議会運営委員

副議長



さざわ ひろし
佐澤 浩 氏

71歳 向町
当選7回 会社役員

議席番号 9

最上のまちづくりに挑戦!

初心忘れず、対話と実行・情熱とスピードと決意を持って地域の問題、課題に全力を尽くします。

自治の原点は町民の皆様方!

皆様方と共に未来の町づくりに公平と公正、協働と創造の政治労働者として不退転の決意で頑張ります。

- ・産業厚生常任委員
- ・議会運営委員
- ・最上広域市町村圏事務組合議会議員

皆様との対話を大事に住みよいまちづくりのために頑張っています



おがた かつお
尾形 勝雄 氏

71歳 大堀
当選3回 町議

議席番号 3

- ◆コロナ克服から出発へ
- ◆町民の思いが届く町へ
- ◆デマンド交通の更なる充実へ
- ◆雪国でも安心して暮らせる町へ

- ・産業厚生常任委員長
- ・議会運営委員

最上町の「幸せ」につながる須貝の3つの柱



すがい やすゆき
須貝 康幸 氏

48歳 本城
当選1回 会社員

議席番号 6

- ◆安心して出産、子育てができ、誰もが豊かに暮らせるまちづくり
- ◆健康で元気な長寿のまちづくり
- ◆SDGsを基盤に地元の未活用資源の発掘と磨き直し
- ・総務文教常任委員
- ・広報編集委員

みんなが笑顔になれる町へ!



やまざき かなこ
山崎 香菜子 氏

40歳 赤倉
当選1回 自営業

議席番号 8

- ◆支え合い、成長できるまち
- ◆やりたいことを実現できるまち
- ◆能力を最大限活かせるまち
- ・総務文教常任委員
- ・広報編集委員

新しい時代に求められる全世代の住民一人一人の健やかで豊かな毎日のために



みやもと ひろし
宮本 浩 氏

39歳 上満沢
当選3回 町議

議席番号 1

- ◆「創る」遊び場・交流人口・高齢者の安心
- ◆「繋ぐ」明日へ、次世代へ、未来へ
- ◆「議会改革」今以上に信頼される議員・議会へ
- ・総務文教常任委員長
- ・広報編集委員長
- ・議会運営副委員長

スポーツ・町づくり!子ども・若者・地域のみなさん私と一緒に、明日の最上町を!!



さとう まさいち
佐藤 正市 氏

61歳 法田中
当選1回 無職

議席番号 4

- ◆国際交流・文化交流事業の推進を図り、子供たちがグローバルな視野を養える町づくりを目指します。◆スポーツ事業を通じて、キッズ世代からの子育て支援の実現を目指します。◆政策課題の取組をPDCAサイクルをしっかりと回して、素早く対応することを目指します。
- ・産業厚生常任委員
- ・広報編集委員

新人議員4名が当選!今後の抱負について話していただきました!

栗林 浩子 氏

集落支援員から町議会議員へ立場は変わりましたが、今までと変わらず皆さんの暮らしに寄り添い、問題を解決するお手伝いをします。皆さんにお会いするのを楽しみにしています。もっと話を聞かせてください。

須貝 康幸 氏

この度、地域に貢献できる立場につくことが出来たことを光栄に思っています。これからの4年間、最上町の皆さんに寄り添い、人々の暮らしをより良くするために尽力してまいりますので、よろしく願いいたします。

佐藤 正市 氏

初めまして!この度町議初当選の佐藤正市です。行政政策PDCAサイクルを確立させ、郷土愛を心情に新時代の最上町の為に、行政と議会がベクトルを合わせて「one team」で頑張ります。どうぞよろしく願いいたします。

山崎 香菜子 氏

初の女性議員として、町政に女性の視点、子育て当事者の視点を取り入れ、これまで培った柔軟な発想で女性・男性の区別なく、様々な困りごとや課題に対して取り組んでまいります。皆さんの声をたくさんお聞かせください。

最上地域の医療について



山形県立新庄病院長

最上町立最上病院長

八戸茂美氏

対談

佐藤俊浩氏

目指すは接遇の改善と人として繋がる医療連携

シリーズの最終回は、県立新庄病院の八戸院長と最上病院の佐藤院長との対談をお送りします。両院長は学生時代からの旧知の仲。学生時代の思い出話から、最上地域の医療にかける思い、二人が考える今後の医療の展望や、地域医療連携のあり方等について語っていただきました。

気の合う先輩、後輩

お互いの第一印象は？

八戸 私は、山形大学医学部（以下、「医学部」と呼ぶ）消化器内科（以下、「第二内科」と呼ぶ）に大学院生として入局し、同僚としてよく一緒にいたのが佐藤先生でした。言葉遣いがしっかりしており、「礼節を重んじる常識人」というのが、第一印象でした。

佐藤先生は、単なるまじめ人間じゃなく、余暇時間の使い方がとても上手な方なんです。そんなところも気が合い、私と先生の捉え方、医療の本質などの価値観も共感でき、すぐに意気投合しました。

佐藤 高校時代、山形東高校で八戸先生の後輩だったのですが、

八戸先生は元々頭のいい先輩でもっばら有名人でした。私自身、名前は知っていたのですが話したことはなく、非常に興味のある人でした。

そんなあるとき、医学部の第二内科に入局し、初めてお会いすることができました。優秀な先輩にいろんなことを教えていただきたいと思っていたのが当時の感想です。同僚として尊敬する非常に親しみやすい方で、「飲みに行きませんか？」と私から誘ったことも何度かありました。

八戸 仕事をしっかり終わらせてから、山形駅前によく飲みに行きましたね。懐かしい思い出です。

佐藤 当時から八戸先生は、仕事の手を抜くことはせず、仕事は決められた時間内にきちんと終

ります。あの頃はとても楽しかったですね。（笑）

佐藤 確かに、「接客評論家」というと、ただの遊びじゃないと思う人は多いかもしれません

が、居酒屋で接客などを観察してきたおかげで、人を不快にさせない接遇とはどういうものなのかを学びました。それを病院の職員などに重ねたりして、「今の対応はダメなのではないか」などと感じるのには、今になって活きていると思いますよね？

日中は医師として、夜は「接客評論家」。ふざけているように思われますが、お互いに医療として「やるべきことはやる」大学院生でした。

教授の勘達5つ……

移動先がその後の職場

八戸 私は佐藤先生みたいに色々な病院で働いたことがなく、地域医療よりも総合病院での医療のほうが長かったですね。元々、地元の病院で働きたかった気持ちが強かったこともあるのですが、佐藤先生は函館市立病院に赴任されたことがありましたよね？

当時は医師として腕を磨ける病院として有名でしたよ。

我ら「接客評論家」

余暇時間に接遇の研究

八戸 昭和60年代は、「ワークライフバランス」など当然なかった時代でしたよね。

私も佐藤先生も決して授業の最前列でノートをとるような学生ではなかったと思います。学生時代に先輩方が特に口にしてきたことは、「医学生は、卒業後3年で人生が決まる」。つまり卒業3年の研修の仕方、方向性どんな医師になるか決まるという意味で、卒業後は、仕事に責任感を持って頑張りましたよ。当時は、礼節を重んじる時代でしたので、先輩の言うことは絶対でしたから。佐藤先生は仲間思いで、まだ仕事が終わらない仲間の分まで手助けしてあげてから一緒に飲みに行くというくらいに仕事ができる人でした。

その後、二人は「接客評論家」と称して、そのお店の接客の良さ悪しを評価しながら飲んでましたね。今思えば、当時から「接遇」の勉強をしていたことにな

学生時代の経験が今に生きる

佐藤 実は、こうした人事は教授が決めるものなんです。当時は「行け！」と言われたら行くしかなかったんです。

八戸 私の場合、たまたま新庄病院に勤務することが出来ただけなのですが、本当は函館の市立病院に行くことを希望してました。一方で、佐藤先生は「函館は遠いから、県内で勤務したい」と言っていました、そこが運命の分かれ道だったんですよ。

佐藤先生は函館、私は新庄病院に決まり、お互いに希望とは真逆になりました。

佐藤 ちなみにその人事、教授の勘違いという噂もあったんですよ。（笑）

私はその後、函館に2年間、最上に4か月、寒河江に2年間勤務し、再度、最上病院で働くことになりました。

八戸先生は卒業してからずっと新庄病院一筋で医療技術を磨いてこられましたので、今でも尊敬しています。

八戸 いろいろいって、佐藤先生は謙遜しているけど、私は佐藤先生がうらやましいですよ。あらゆる地域の病院を見てきたので、私は新庄病院しか知りませんから。

佐藤 しかし、どうでしょう。新庄病院で長く働いていた方が、臨床の力はもの凄く付きますよ。私は地域の病院ばかりでしたので。実は最上病院に来てからも、2度目の赴任当時は最先端なことをやっていたのですが、時代の変化で病床機能が慢性期にシフトしてからは、遅れをとっているのが現状です。

本当は、新庄病院に行つて勉強したいとは思っているのですが、自分自身の病気などもあり、中々最先端の医療から遠ざかっています。来年くらいから、気持ちを入れ替えて、本気でやり直したいです。

次のページへ続く



八戸 茂美 (64歳)

新庄市出身
1958年10月13日生れ
現山形県立新庄病院長
出身高校：山形東高校

◇大学院卒業後、県立新庄病院で30年間勤務。消化器内科を専門とし、長年にわたり同病院で活躍。現在は新庄病院長として、手腕を発揮している。

八戸 やはり、研修ということを考えていたら若いときに大きい病院に行ったほうがいいと思いますね。でも、佐藤先生は地域のあらゆる病院をまわってきたおかげで、幅広く診察する技術を身に付けてきたのだと思います。だから地域医療をこなすことができるんですよ。

簡単に紹介出来ない

最善を尽くす医療とは

佐藤 私の経験からですが、昭和の末期に山形市の病院で、「わからないことがあっても自分で調べて解決するように」と病院側からよく言われたものです。

簡単に患者さんを紹介することができない時代でしたので、自分ですごく悩んで、2つぐらい可能性を考えて、どちらに転んでも大丈夫な治療をして、寝るの晩を過ごしたことも多々ありました。「患者さんに対して最善を尽くす」というのは、自分の医療技術でできることに責任を持ちながら最大限の努力をすることではないでしょうか。八戸先生はどうお考えですか？

佐藤 私の経験からですが、昭和の末期に山形市の病院で、「わからないことがあっても自分で調べて解決するように」と病院側からよく言われたものです。簡単に患者さんを紹介することができない時代でしたので、自分ですごく悩んで、2つぐらい可能性を考えて、どちらに転んでも大丈夫な治療をして、寝るの晩を過ごしたことも多々ありました。「患者さんに対して最善を尽くす」というのは、自分の医療技術でできることに責任を持ちながら最大限の努力をすることではないでしょうか。八戸先生はどうお考えですか？

八戸 そうなんです。問題は将来の人口動態と、高齢者を含めた疾病構造がどう変化していくか、それらの患者さんはどこで診ていただくのが適切か、でしょうね。

佐藤 ちなみに、現在では新庄市以外の方で特別な疾患を持たない患者さんも、新庄病院の診察を受診されている状況ですか？

八戸 ええ、いらっしゃいますよ。ただ、コロナ禍を契機に、患者さんの受診動向も変わってきているのも事実です。受診控えがある一方で、感染症の基幹病院に一目散で殺到するケースもありました。見方を変えれば全国民が自らの健康管理への意識が一層高まった期間だったともいえます。

いづれにせよ病院運営は、その地域の患者動向に応じた対応をしていかなければなりません。新庄病院は急性期の基幹病

八戸 私も考えは同じです。地元に戻ってきた時の責任感は、今でも忘れられませんね。誰しも地元に戻るときは、ベテランになってからと思うのですが、私の場合は医師とは言え、何も身につけていない状態で戻ってきたので、全て先輩方に聞くしかない。あの頃は早く仕事を覚えたくて、なりふりかまわず「教えてください」という姿勢で仕事をしていました。

目の前の患者さんを相手に、間違った医療をしていないか常に不安でした。今でもその責任感を感じながら、自分ができていることを考えて、教えてもらいながら、最善を尽くす医療を目指しています。

佐藤 そうですね。しかしながら、慢性期医療では、最善の医療を尽くしても、求めていた結果が出ないこともあります。この点について、今の若い医師に伝えたいことはありますか？

八戸 私の経験を伝えるとしたら、高齢者の方が入院する際には、ご家族の方に「今お元氣に見えるけど、不意に呼吸が止まることあります」と必ず説明するようにしていたことです。

佐藤 やはり、そういったときに限って、家族が遠方にお住まいでトラブルになるケースがあり

院です。より一層の質を上げていくべく努力していくつもりです。

町立病院、診療所の先生方もまたその機能の特性を活かしつつ、更にその魅力を発信していくことが将来の医療人材確保にもつながると思います。

佐藤 医療従事者の確保では、どうやって魅力を伝えていきますか？

八戸 医療従事者の確保は、一朝一夕では得られないことを痛感しています。そもそも子供の頃から始まって、将来郷土を愛せるように育てられるか、いざ戻ってこようとした時の生活環境、子供を育てる上での教育環境はどうか等を考えると、これは医療現場だけでは到底解決できず、親、家族、学校、行政、最上地域全ての住民と一緒に考えて行かなければならない課題だと思っています。

そもそも、最上町に縁もゆかりもなく赴任した佐藤先生は、以後26年間最上町を愛して、ここで医療を続けてきてくれたことは素晴らしいことで、私が最も尊敬するところでもあります。

最上病院には何気にもいつも、研修医の先生が派遣されているように見えるでしょうが、佐藤

持てる技術で最大限の努力



佐藤 俊浩 (62歳)

山形市出身
1960年12月8日生れ
現最上町立最上病院長
出身高校：山形東高校

◇山形大学医学部消化器内科に所属。大学院卒業後、様々な地域の医療を経験し、平成9年4月から最上病院長に就任。地域医療の医師として、39年のキャリアを誇る。現在も内科医として診療にあたる。

ますね。先生の病院でも、高齢者が長く入院して亡くなるケースはありますか？

八戸 ありますね。家族にしてみれば、病院に入院していたのに「何故亡くなったのか？」と思いますよ、それは。

一方で、高齢者の方にどこまでの医療を選択してあげれば良いか、主治医にとっては大変重要なテーマだと思っています。

佐藤 確かに、全て最先端の医療をすれば治るのかというと、実はそうでもない場合があります。

一般的な手術の方が効果的な治療だったりもするんですよ。先ほどお話しした患者さんも、様々な処置を尽くしたのですが、上手くはいかず結局は治療をつなぎ合わせて助かる患者さんもいると私は感じていました。それはそれで医療として成功しているのではないかと思います。

先生がたゆまなく母校の大学の院の医局に働きかけをしてきたからこそその結果であると確信しています。

病院も研修医に活気ある職場環境を提供する努力をしてこられたからでしょう。問題は、この体制の永続性ですね。佐藤先生の意志を汲む後進の育成にも大いに期待しているところです。

佐藤 ありがとうございます。昔

は、優秀な先生が最上病院にたくさん来てくれて、現在では考えられないくらい最先端なことをしていました。山形の医局から地域医療へ派遣された先生が、医師として一番鍛えられる場所が最上病院だったと聞いたこともありました。

そういった流れであれば非常に面白いことだと思ひ、新しいことを一生懸命やっていたのですが、慢性期の病院に変わってきた頃から、そういったことから手を引きつつあります。

しかし、優秀な先生が臨床的見地から考えても、本当に素晴らしいことをやっていた華々しい時代もあって最上病院の今があります。現在でも多くの研修医が、最上病院に来てくれるのは、こうした昔の山大との信頼関係と、地域医療を学ぶための研修病院として認識されているからだと感じています。

家族の方も喜んでくれましたし、助かった患者さんには、これからも元気でいて欲しいと切に願っています。やはり高齢者の方の人生、それから家族の方の負担をかけた治療も考えながら、最善の医療を目指していく必要があるのではないのでしょうか。

医療の存続は人材確保

最上地域の医療の変化

八戸 最上地域における人口は総じて減少していくわけですが、75歳以上は緩やかに増加し、2030年頃から減少に転じていくようです。いづれにせよ、しばらくは後期高齢者の人口が増加していくということですね。

地域医療という観点から最上地域を見たとき、当然ながら全国各医療圏で事情は異なります



▲研修医の先生の中には送別会で、皆さんに感謝の意を評して演奏などを披露してくれる先生もいました。毎年多くの研修医が地域医療を学びに来ています。

医療連携の本質とは

理想の地域医療に向けて

佐藤 多分、町民の皆様が一番関心のある内容だと思います。現在の状況も踏まえてお話しさせていただきます。

次のページへ続く

いよいよ
完成
です！

最上病院経営強化プラン

最上病院経営強化プランがいよいよ完成します！
その一部である行動指針を先行してお知らせいたします。更に詳しい概要につきましては、9月の全戸配布などで町民の皆様にお知らせする予定です。

町民の皆様から愛され続ける病院を目指して！！

行動指針

「高い技術、低い腰」

この行動指針は、これまで最上病院で取り組んできた急性期・回復期・慢性期医療の中でも、かかりつけ医としての役割を十分に果たすため、急性期医療体制を充実していくこと。そして、町民アンケート等の分析により明らかとなった課題「接遇力の向上」を柱としています。

～行動指針に基づく主な4つの取り組み～

1

【増収・増患】

1. 「運営委員会兼経営改善会議」の強化
2. 医業収支比率及び経常収支比率の改善
3. 入院患者の増加に向けた施策の検討・実施
4. 患者の状況に応じた最適な在院日数と適切な診療報酬請求による増収の施策の検討・実施
5. 外来患者の増加に向けた施策の検討・実施

2

【医師・看護師の確保と働き方改革】

医療従事者確保に向けた独自施策の検討・実施

3

【患者サービス向上施策】

最上病院行動指針
「高い技術、低い腰」
の徹底で厚い信頼の獲得

4

【経費の削減・抑制対策】

1. 職員のコスト意識向上、現場主体の経営改善の実施
2. 適正な人事管理による業務内容及び諸手当等の見直し
3. 経費の削減
4. 医療機器等の購入と更新計画

6月から本シリーズをご覧いただきました。全3回シリーズの最終回では、新庄病院と最上病院の両院長の考えや、今後の方針などを町民の皆様にご覧いただき期待と考える企画となりました。今後も最上病院をよろしくお願ひします。



トーに医療技術のさらなる向上と、職員の接遇改善を念頭に置いて、「高い技術に、低い腰」を掲げて頑張っています。八戸院長には、今回の対談を引き受けていただき本当にありがとうございます。今後とも、人としてつながる本場の意味での「地域医療連携」を目指して共に頑張りましょう。

3か月にわたり、特集をご覧いただきありがとうございました！

シリーズ ～町民の健康を守る「まちの病院」の在り方を考える～



八戸 もちろんこれから「※医療DX」が進んでいく中、より効率よく情報交換をするシステムは重要です。でもあらためて、「地域医療連携」の本質を考えると、

佐藤 「地域医療連携」はすごく大事なことです。ですが、一般的な医師に「地域医療連携」というと、単に患者さんに紹介状を持たせて終わってしまふところが正直あります。「紹介状を書いて、あとは新庄病院に全てお願いしまふ！」といった考え方は今後改めるべきですね。紹介後は町の病院も、新庄病院の医療に参画して、医療技術向上のために、新庄病院から指導をいただきながら、医師として研鑽を積んでいくことが、町民の皆様にとって必要な、喜ばれる病院ではないかと思ひます。

連携は人とのつながり

八戸 現代のめざましい医学の進歩、めまぐるしい医療制度改革の中にも、ややもすると「私も自分は何で医師になったのか」とか、どんな医師で、どんな医療の提供が理想だったのか」と自分の初心が揺らいでいたのですが、そんな中で自分なりの答えを見つけたと思ひました。昔、医学生の時受けた

佐藤 そうですよ。もし、一人の患者様を救うための新たなテクニックがあるとしたら、その技術を学んでくると、佐藤先生のおっしゃる通り、私も最後は人と人が繋がることこそが連携です。このことという時は「対面」だと思ひます。おそらく現代はその「こころ」のさじ加減がわからなくなっているのではないかと、と憂ひています。

高い技術、低い腰

佐藤 新庄病院は、新病院移転がいきなりのつながりになると思ひます。地域医療連携のセクションも新たに設けられますので、引き続き最上病院の患者さんで、医療に迷うことがありましたら紹介はさせていただきます。紹介はさせていただきますが、医療技術などを教えていただけるとありがたいです。また、最上病院では接遇が課題となっております。そして、患者対応に最も重要なのが接遇です。ともに努力していくことこそ地域医療を盛り上げていくキーポイントだと思ひますので、今後ともよろしくお願ひします。患者さんに「優しく」をモツ

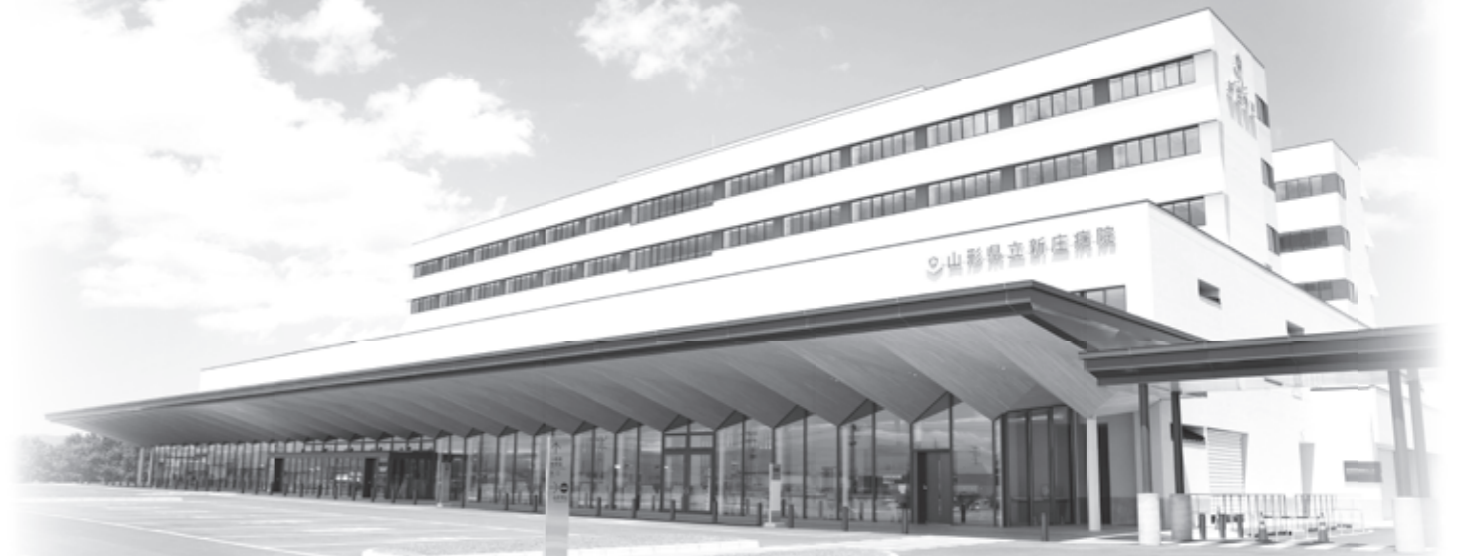
講義で一度は耳にしたはずなのに、忘却のかたにあって「ヒポクラテスの誓い」を見つけた。紀元前5世紀に既に「医の倫理」を明確に説かれていたことに驚きました。どうぞ興味のある方は是非、一読してみてください。最上の医療はこれからも理想を追及できる伸びしろがまだまだあると思ひています。共に頑張りましょう。

※医療DX（デジタル・トランスフォーメーション）：医療現場において、デジタル技術を活用し医療の質の向上や効率化を図るものです。現在、厚生労働省は「医療DX 令和ビジョン 2030」を掲げ、国を挙げて改革に取り組んでいます。例としては電子処方箋やオンライン予約システムなどがそれに該当します。

10月4日（水）、外来診療開始！

最上8市町村「共同広報企画」

新しい県立新庄病院をご紹介します！



新庄・最上地域の医療の中核を担い、人々の生活を支える県立新庄病院。
新病院は10月1日（日）に開院し、10月4日（水）から外来診療を開始します。
今回は開院前に、新しい県立新庄病院についてご紹介します。

新病院の理念

「仁」「愛」「和」の心をもって、地域住民に信頼と安心を与える医療を提供し、最上二次保健医療圏唯一の中核病院としての使命を果たします。

新病院の重点機能

① 救急医療

最上地域で初めて、ヘリポートを備えた「地域救命救急センター」（10床）を設置し、高度な救急医療を提供します。

② 生活習慣病への対応

専門の医師を配置し、がんや糖尿病などの生活習慣病への対応を強化します。

③ 小児・周産期医療

最上地域唯一の分娩取り扱い機関として、小児・周産期医療を提供します。

④ 総合患者サポートセンター

入院手続き、退院後の療養環境、介護・福祉サービスの利用など、一連の相談に対応するほか、医療や健康に関する情報を発信します。

⑤ 災害医療・感染症対応

大規模災害や新型コロナウイルスなどの感染症への対応を強化します。

施設概要

平面駐車場約850台（うち身体障がい者等用の屋根付駐車場は20台）、駐輪場などを整備し、多くの来院に備えています。

診療科

救急科	放射線科	眼科	泌尿器科	脳神経外科	整形外科	外科	脳神経内科	血液内科	循環器内科	内科
麻酔科	耳鼻咽喉科	産婦人科	皮膚科	形成外科	乳腺外科	小児科	腫瘍内科	呼吸器内科	消化器内科	現病院

新設予定の標榜診療科目

腎臓内科	歯科
緩和ケア内科	
糖尿病・内分泌内科	
精神科・心療内科	
リハビリテーション科	

病床数

地域救命救急センター10床を含む、325床を設置し、地域医療を支えます。

今後のスケジュール

日時	内容
9月18日（月・祝）	開院記念式典 県民向け内覧会
9月29日（金）	現病院外来診療最終日
10月1日（日）	新病院開院
10月2日（月）	外来診療休止
10月3日（火）	
10月4日（水）	外来診療開始

ご挨拶

山形県立新庄病院 院長 八戸茂美



山形県立新庄病院は、最上地域における基幹病院として、地域の皆さまに「安心・安全・信頼」の医療を提供して参りました。この度、最上地域の市町村ならびに関係団体のご尽力、そして何より地域の皆さまのご支援により、移転改築の運びとなりました。あらためて御礼申し上げます。新病院においては、地域救命救急センターを整備するとともに、新庄市夜間休日診療所の機能を移転するなど、救急医療の一層の充実を図っております。

また、最上地域市町村や保健所と連携して総合患者サポートセンターを設置し、入院から退院、在宅までの暮らしへのサポートも強化されます。これからも、皆さまが愛するこの地域で安心して暮らしていけるように、良質な医療の提供に努めてまいりますので、引き続きご支援くださいますようお願いいたします。

院内の様子を先行公開！



▲①正面入り口の様子

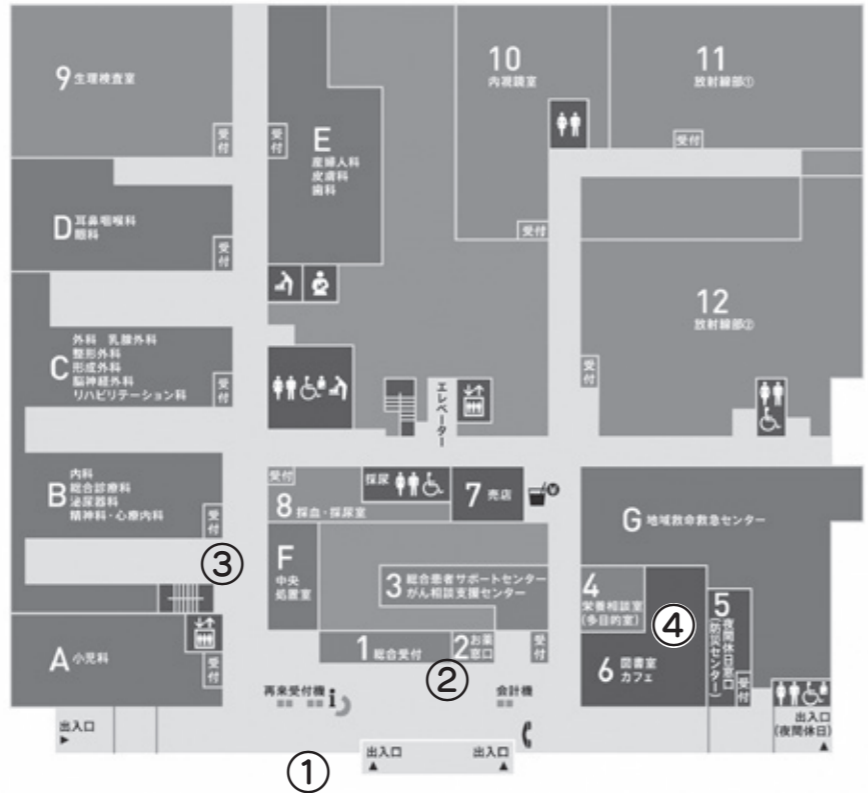


▲②総合受付や総合患者サポートセンターなどの各種窓口をエントランスホールに集約しています。



▲③外来ストリートの様子。外来は1階に集約されました。

新病院1階フロア図



▲④患者図書室とカフェを併設。一般の方も利用できます。



▲新・新庄病院の天井や壁の材料には、県産材木材である最上町のスギや鶴岡市などのカラマツを利用しています。

今号では、県立新庄病院の新病院整備課よりご協力いただき、最上地域の8市町村の広報担当が共同で取材を行い、新県立新庄病院の記事を作成し、公開しました。

今年度の「二十歳の集い」には新成人になる49人が参加し、再会に声を上げて喜びました。当日の式典では新成人を代表して実行委員長の早坂萌さんが「20歳として責任感を持って『前進』していきましょう」とあいさつを述べました。

高橋町長からは「コロナ禍を乗り越えた皆さんなら、必ずいい人生が送れます。活躍を期待しています。とお祝いの言葉が贈られました。」

その後、第2部で行われた記念講話では中学3年生当時の恩師による元生徒たちに向けたメッセージなどがあり、中学時代の思い出話を語ってもらい、大いに盛り上がっていました。

今年の新成人たちのテーマは「前進 未来へのバトンをつなぐため」。今までの自分から、これからの自分につながるように一歩ずつ着実に進めるようにといった意味が込められています。

愛郷心あふれる皆さんにとって、希望に満ちた未来になりますよう、今後のご活躍を期待します。

二十歳の自分へ



当時の最上中学校の先生たち、恩師からの言葉



当時の学年主任
佐藤二郎先生

二十歳の集い、本当におめでとうございます。立派になった皆さんを見て、本当にうれしく思いました。これからも、自分の夢や目標に向かって突き進んでください。応援しています。



当時の学年の担任
柏倉英司先生

これからも、つらいことや困難に負けないで、自分の命や、家族とその命を大切に、たくましく成長してください。周囲への感謝、「ありがとう」の気持ちを伝えるコミュニケーションを忘れずに活躍することを楽しみにしています!



当時の学年の担任
小川美津子先生

中学生の頃はかわいかった皆さんが、キラっとした大人の顔になっていました。お会いできて本当にうれしかったです。昔のオモシロエピソードを語り合える日を楽しみにしています。



当時の学年の担任
伊藤かおる先生

二十歳の集い、本当におめでとうございます。皆さんの晴れやかな表情から、それぞれの場所で充実した日々を送っていることが伝わってきました。これからも様々な人生の選択に迫られることがあると思いますが、自分を信じて「力強く」歩んでください。



8月16日に行なわれた「二十歳の集い」

コロナ禍を乗り越え二十歳へ





最上町魅力発信の Instagram を見ることができます!

地域おこし協力隊通信

最上町の食の魅力を伝える講和を行いました!



こんにちは! 今月号は菅大智がお伝えます!

カンカン照りの太陽が私達を小麦色に染める今日この頃。皆様いかがお過ごしでしょうか?

最上町の農作物といえばお米やアスパラガス。果物ならサクランボやブルーベリー、シャインマスカット。これらは、ふるさと納税の返礼品として、最上町から多くの農家さんが全国に出荷していらっしゃる。

取材させていただいた際に試食させてもらおうと、どれも甘味やみずみずしさがあって美味でした。農家さんの知識と経験に基づいて作られる絶品フルーツと夏野菜。こちらは私のInstagramで見ることができますのでぜひチェックしてみてください。

また、先日約30名の町外高校



生に向けて私がどのような活動を行なっているか、地域との関わりの部分も踏まえて講話する機会を頂きました。切っても切れない食と健康。より良い生活ができるようになりませんが、それに伴う健康面でのリスク、また、町内で活躍されている農家さんについてお話ししました。講話後の質疑応答やグループでのディスカッションも積極的に意見が飛び交い、学生の皆さんに地元の良さや魅力などを何か感じ取って頂けたと思います。

『最上町の食の魅力』について、多くの方に伝わっていただければ幸いです。

集 落 支 援 員 だ よ り

再編で大きく変わる最上地区の県立高校



新庄北高+新庄南高 新高校

最上地区全体の中学生の減少により、新庄市にある県立新庄北高、新庄南高、新庄神室産業高の枠組みが、令和6年度より大きく変わります。

県教育委員会の説明によりますと、現在、新庄南高に開設されている商業系の総合ビジネス科は令和6年度より、新庄神室産業高に移ります。(同科の現一、二年生は新庄南高で卒業まで在籍します)

次に、現在の新庄北高と新庄南高は令和7年度末に統合され、令和8年度からは、新高校として名称も新たに、全日制は普通科3学級、探究科2学級の高校として出発することになります。また、新庄北高は令和6年度に一学級減の4クラスでの募集となります。新庄南高の普通科2クラス募集は変わりません。

夜間定時制は 昼間定時制に

現在新庄北高には夜間定時制が設置されています。定時制ですので、一日当たりの授業時数が少ないことから4年間の卒業を目指しています。この夜間定時制が、令和9年度からは昼間定時制に移行することになります。

使用する 校舎などは?



JRを使って新庄市内の高校に通学する高校生

新高校全日制は、現在の新庄北高を改修して使用することとしています。一方、定時制は令和9年度から、現在の新庄南高の校舎を使用することになります。全日制の制服は現在の両校デザインとは異なる新たな制服・運動着になります。部活動は、入学時にある部活動は原則募集を継続して、新高校開校後も継続できるように検討しています。

今後の 新庄北高最上校は?

最上地区には新庄北高最上校のようにキャンパス制をとっている高校が、新庄南高金山校、新庄神室産業高真室川校と3つあり、いずれも小

規模校ながら地域と密接な関係のもとに特色ある教育活動を行っています。

今回の再編計画ではこの3つの高校についての具体的な方針は示されていません。県教委では小規模校の良さを認めつつ、今後の生徒数の推移によって新たな判断を示したいとしています。しかし、このまま生徒数が減少すればいくらか小規模校の良さがあるといっても存続は難しくなります。少子化の中でも安定した入学者の確保が急務です。

最上校の 魅力化の推進

最上校の存続を見据え、令和2年度より県教育委員会の支援を受け、最上校の魅力化に向けた連携会議を発足し、入学者の増加を図るための諸事業に取り組んできました。その取り組みの一つが最上校の魅力を紹介する動画の制作です。

もう一つは最上校の県外募集の開始です。最上町の豊かな自然と歴史や文化にふれ、三年間最上町で暮らす「最上町みらい留学生」制度を創設しました。三つめの最上校の大きな特色は「セミナーハウス最上寮」の存在です。先にあげた「みらい留学生」はじめ、通学が

川遊びって楽しいね! 赤倉温泉地域の魅力発信!



富沢地区 遊佐 忠孝 支援員



り赤倉温泉振興対策協議会のイベント部門として立ち上がったもので、これまで「食」「温泉・旅館」「新しい観光・ダム」をキーワードに、赤倉温泉地域の魅力について発信してきたそうです。

今回は、赤倉温泉内の川の魅力を知らせてもらうことを目的に開催され、町内外から参加した16名の小学生に、川魚の観察・採取や素潜りなどを通して楽しんでもらうことができました。

お楽しみみの昼食では、河原に設置したかまどで作った美味しい芋煮とおにぎりを満喫。最後はスイカ割をして楽しみました。川で冷やしたスイカは格別の美味しさだったようです。家庭ではできない川遊びなどを夏休みのイベントで行なう、これが子どもたちの心に残る良い思い出になるのかなと感じました。

7月30日(月)に「赤倉温泉まじやれ茶や」前の最上小国川で、赤倉温泉de遊ぼうプロジェクトによる夏の思い出作り「川遊びをしよう」が開催されスタッフとして参加してきました。

このプロジェクトは、2020年よ

困難な北村山管内の生徒を中心に18名が寮生活を送っています。しかし、なんといっても大事なのは学校生活の中心となる学習内容の充実や、希望する進路を達成するための授業の充実です。最上校では少人数の良さを活かして、一人ひとりの力を引き出す個別指導の充実を図り、「どの生徒も伸ばす、伸びる生徒はもっと伸ばす」をスローガンに先生、生徒一丸となって取り組んでいます。

さらに今年度からは地元最上中の生徒に、もっと最上校の魅力を理解していただくことをねらいとして「中学生との学校活動連携プロジェクト」も始まり、一学期には合同での職業体験プログラム「もがみ未来塾」を実施しました。

最上校は町にとって欠かすことのできない大事な学校です。今後とも皆様のご支援を願っています。



最上校名物・運動会での親子競技

地域みんなで健康づくり いきいき百歳体操！！

その⑯ ～瀬見地区～

◇始めたきっかけ

今年の冬に老人クラブの数人で、NPO 法人アルカディアもがみ「みんなの家」(向町)で開催している「百歳体操教室」に参加しました。すぐに体操の効果を実感し瀬見地区でもぜひ始めたいと、まずは老人クラブ内で話し合いを行いました。そこで老人クラブだけではなく、地域のみなさんが参加し健康づくりできるような場にしたいと考え、地区役員の方々にも協力をいただくことになりました。令和5年4月に地域包括支援センターや社会福祉協議会健康クラブの説明や指導を受け3か月間取り組み、その後話し合いを重ね継続していくことになりました。



◇体操実施日時・会場

毎週金曜日 午前10時～11時頃まで
瀬見公民館

◇取り組んだ感想

参加しているみなさんは笑顔で、金曜日が待ち遠しくなっている方も多いようです。みなさんの協力を得て、健康づくりの活動が地域にできたことは大きな喜びです。また瀬見には「はつらつリーダー塾」に参加された方も3名おり、大変心強く感じています。
※はつらつリーダー塾…運動指導員から健康づくりのための運動(百歳体操)を正しく学ぶ健康づくりリーダーを養成する社会福祉協議会の事業。

◇一言 PR

瀬見公民館は最上小国川のせせらぎと緑に囲まれた環境にあり、おいしい空気を吸いながら体操ができます。「健康に勝る宝なし」を胸に、みんなで健康長寿を目指しがんばります

〇お問い合わせ 地域包括支援センター (内線605)

9月は食生活改善普及運動月間です

～食事をおいしく、バランスよく食べよう!!～

バランスのよい食事は健康への第一歩!主食・主菜・副菜を組み合わせることで、からだに必要な栄養素をバランスよく摂ることが出来ます。皆さんもこの機会に食生活を振り返り、栄養バランスのとれた食事を心がけましょう!



- 〇主食：ごはん、パン、麺類など。炭水化物を多く含み、エネルギーのもとになる。
- 〇主菜：魚や肉、卵、大豆製品などを使ったおかずの中心となる料理。たんぱく質や脂質を多く含む。
- 〇副菜：野菜などを使った料理。ビタミンやミネラル、食物繊維などを多く含む。

〇お問い合わせ 健康づくり推進室 (内線607)

郷土料理集

「伝えたいもがみの味」

好評発売中!!

1冊 1,000円

購入を希望される方は健康福祉課までお問合せ下さい。



〇お問い合わせ 健康づくり推進室 (内線607)

「もっと元気になる講座」 山形大学医学部附属病院 研修医 西村友花

今日から使える!子どものアレルギー講座

※令和5年7月25日(火)に行なわれた内容です

特に、アレルギーになりやすい体質の人が、乳幼児期のアトピー性皮膚炎の発症に始まり、食物アレルギー、気管支喘息、小学校期にはアレルギー性鼻炎等、成長するにつれて色々なアレルギー症状に悩まされることをアレルギーマーチと呼びます。また、アレルギー症状は、適切な検査や治療を行うことで改善することが多く、このような状態を医学的な言葉で寛解(かんげい)といいます。その後増悪(ぞうあく)悪化する(こと)、軽快、消失、再発を繰り返すことがアレルギーの特徴の一つになります。



令和3年度に消費者庁が食物アレルギーの全国調査を行なっています。食物アレルギー第一位は鶏卵です。およそ3割程度の子供たちがこのアレルギーを持っています。2位は牛乳で2割、3位に木の実となっていています。ちなみに前回調査では、小麦が3番目にアレルギーを持つ方々が多かったのですが、今回の調査では木の実が小麦を抜いて高い割合となりました。また木の実の中でも「クルミ」のアレルギーが種類別で見ると高い傾向にあるようです。

子どもの3大食物アレルギー

昔と比較してアレルギーになる子どもの割合は増えていています。喘息など罹患率が減少しているものもありますが、食物アレルギーやアレルギー性鼻炎・結膜炎等は増加傾向で、全体の半数近くが何らかのアレルギー疾患を持つていると言われています。

アレルギーになる子どもは増えている?

食物アレルギーにはどんな症状があるの?

蕁麻疹等の皮膚症状、まぶたが腫れる等の粘膜症状、腹痛や嘔吐、下痢等の消化器症状、咳や息苦しい等の呼吸器症状、血圧が急激に低下して意識が朦朧とする等の症状があります。これらの症状が出現した場合には、かかりつけ医や専門医に相談しましょう。

子どもの3大アレルギー疾患

アトピー性皮膚炎

生まれた直後からの保湿ケアが重要です。

食物アレルギー

アレルギーを心配するあまり離乳食の開始時期を遅らせたり、予防的に除去したりすることは、経口免疫寛容(※口から食べることで食品によるアレルギーを抑えてくれる仕組み)を誘導する機会を失うことにつながり、結果的に食物アレルギーがより起こりやすくなることに繋がってしまいます。

気管支喘息

風邪の代表的な原因ウイルス

大人にも起こりやすいアレルギー症状

花粉症 食物アレルギー症候群

原因となる食物に花粉と似た成分が含まれることが原因で、食べた後に唇や口の中がイガイガする等の症状を感じます。

食物依存性運動誘発アナフィラキシー

原因となる食物を食べるだけでなく、食後2時間以内に運動した場合にのみ症状が起こるもの等が挙げられます。

まとめ

年々、アレルギーを発症する子どもは増加していますが、原因が分かれば対処できる病気の一つです。異変を感じた場合は速やかに医療機関を受診し、適切な予防法によりアレルギーとうまく付き合ってください。

〇お問い合わせ 健康づくり推進室 (内線608)



町内一斉防災訓練を実施

8月27日(日)、各集落において午前6時のサイレンにあわせ、町消防団や自主防災組織と連携し、避難誘導訓練やハザードマップの確認など、集落ごとに特色ある防災訓練が行なわれました。

引き続き、午前9時からは赤倉・月楯・瀬見の三地区において、町消防団による火災防ぎょ訓練が行なわれました。三地区の現場では、消防団員の皆さんが、これまで培ったポンプ操作技術や迅速な伝達など、本番さながらの訓練を行ないました。

短期滞在プロジェクトを最上町で (文教大学)

農業における労働不足を解消するとともに、町の良さを知ってもらうことを目的とした「最上町短期滞在プロジェクト」。これは、都市部の余剰の労働力を活用し、ハードルの高い完全移住から一定の期間滞在する「プチ移住」を推進しようとする取り組みです。今回は、文教大学経済学部学生10名を迎え、町内の農家3軒とJAでの就労を5日間のプログラムで実施しました。また、最上町の魅力を知ってもらうため、山刀伐峠のトレッキングを行い、その光景の俳句を詠むなど、最上町を満喫してもらいました。



最上町「地域の宝」に新たに1件登録！

最上町「地域の宝」登録事業は、これまで地域に慣れ親しまれ、受け継がれてきた有形・無形の文化資源や自然を将来にわたって継承していくとともに、地域資源を再発見し保存・活用することで、地域における文化の振興及び町民の伝統的な文化に対する意識の向上を図ることを目的としています。

今回新たに1件が最上町「地域の宝」に登録されましたので、ご紹介します。

登録番号第7号

瀬見温泉伝統芸能保存会太鼓部会 ◆無形 芸能

瀬見温泉発見の由来とされる義経・弁慶伝説を伝統芸能として活用し、平成2年に有志12名で「瀬見温泉伝統芸能保存会太鼓部会」を発足。現在、会員数は43名。地域に根差した太鼓部会として地元の祭りをはじめ、最上地域のイベント参加や老人ホームへの慰問、教育旅行で町外から訪れた生徒への指導などを通じて、交流の輪を広げながら、子どもたちとのふれあいを大切に、次世代への伝統文化の継承と地域活力の創出を目的に活動を行なっています。



わくわくキッズルーム 264名が参加



社会福祉協議会のはっぴープロジェクト事業の助成金を活用し、今年は交流会館と中央公民館を会場に7月31日(月)から計6回開催し、町内小学生延べ264名がレクリエーションゲームやミニキッズ祭り、スライム制作を楽しみました。こども食堂では、大場満郎さん、(株)三和食品、社会福祉協議会より提供いただいた食材を、富沢地区婦人会、松葉会、満沢のたらふく工房の皆さんから調理していただきました。たくさんの地域の方、団体の協力を得て開催することができました。ご協力ありがとうございました。



おのほそ道赤倉ゆけむり館入浴者数 30万人突破

オープンから6年目を迎えた、「おのほそ道」赤倉ゆけむり館では、8月16日(水)に入浴者数が30万人を突破しました。記念すべき30万人目にお越しいただいたのは、宮城県から観光でこられた大槻さんご夫妻です。

お二方には、一般社団法人赤倉温泉振興会から記念品が贈呈されました。今後も町内外のお客様から愛される施設を目指し運営していきます。皆様のお越しをお待ちしております。



写真：大槻裕二さん ご夫妻（宮城県）



大筆体験キャラバンに大勢の参加者

8月19日(土)、中央公民館みどりホールにおいて、大筆体験キャラバン「BLUE SHEET」In 最上町が開催されました。太田司さん(向町)が主催するこのイベントは、東京都板橋区在住の書道家・原田貴世さん率いる「BLUE SHEET」との交流から始まり、今年で6周年を迎えました。

今回は、メンバー5名が来町し参加者50名に対して大筆を使ったダイナミックな書道を体験してもらいました。出来上がった作品は、8月21日から25日まで中央公民館に展示されました。

農業委員による 農地パトロール・作況調査

8月25日(金)に、農業委員及び農地利用最適化推進委員合計16名による、農地パトロールと農作物の作況調査が行なわれました。

町内における水稲や園芸作物等の生育状況の把握を中心に、耕作されていない農地の有無も確認しながら巡回しました。今後も農地の適正利用の把握に努め、健全な維持がなされていくよう活動を強化して参ります。



9月号 くらしの情報

お知らせ

「誰もが主役！
輝く最上のひとづくり
シンポジウム」
の開催について

▼日時 11月19日(日)
午後1時30分～午後3時30分
▼場所 最上広域交流セン
ターゆめりあ2Fホール・ア
ベージュ
▼対象 興味のある方
※参加料無料
▼申込 11月8日(水)まで
左記お問い合わせ先へ

○お問い合わせ先
最上町まちづくり推進室
☎43-2261

**Aiナビやまがた
出張説明・登録会**
「Ai(あい)ナビやまがた」
は、1対1の出会いの機会を
提供するマッチングシステムで
す。Aiによるおすすめ機能も
あります。※詳細は「やまが
たハッピーサポートセンター」
のホームページをご覧ください
。下記QRコードからログイ
ン可能です。◆最上町では登録
手数料、更新手数料の全額を
補助していますので、ぜひご
利用ください。(補助金につい
てのお問い合わせは最上町ま
ちづくり推進室まで
☎43-2261)

▼日時 11月5日(日)
午前11時00分～午後4時00分
▼場所 エコロジーガーデン
文化交流スペース
▼内容 ①システムの利用
方法説明、②登録方法説明、③
ご希望の方は「仮登録」のお
手伝いをやまがたハッピーサ
ポートセンターのスタッフが行
ないます。

▼対象 山形県での結婚を希望
する20歳以上の独身の方
▼定員 8名
▼申込 11月2日(木)まで
新庄市総合政策課へ

○お問い合わせ先
新庄市総合政策課
☎2212115

▼融資対象者 最上町にお
住まいの勤労者の方で、会社
や商店に一年以上勤務してい
る方
▼融資金額 100万円以内
300万円以内
▼融資金利 固定金利年
1.25%～年2.75%
▼融資期間 7年～10年以内
※ご融資金額、ご融資金利、
ご融資期間は、お使いみちに
より分かります。

▼保証 労働金庫指定の保
証機関のご利用となります。
※保証料は労働金庫が負担し
ます。

▼その他 ローンの詳細は、
労働金庫にお問い合わせくだ
さい。

◎労働金庫の店頭で、返済額
の試算を行います。
◎労働金庫の審査の結果、ご
融資できない場合、ご希望
に添えない場合があります
ので、あらかじめご了承ください。

※2023年4月1日現在

○申込・お問い合わせ先
東北労働金庫新庄支店
☎227151
商工観光課
☎4312340

くみんないっしょ
親子でスポーツ！

親子で元気いっぱい体を動か
しましょう。遊びながら楽し
く運動したら、ヨガやダンス

10月16日(月)から22日
は行政相談週間です



○主催 最上地域みんなが子
育て応援団

10月16日(月)から22日
は行政相談週間です

10月16日(月)から22日
(日)まで「行政相談週間」
です。行政の仕事やサービス
などで納得いかないこと、要望
したいことなど、「無料」、「秘
密厳守」でご相談に応じます
ので、お気軽にご利用くださ
い。



読み込むとHPへ
アクセスできます
QR code

謎解き×出会い
恋活イベント

▼日時 10月28日(土)
午後1時00分～午後4時30分
▼場所 アクアユマリエTAM
AHIME

▼対象 20代～30代の独身の方
▼内容 「謎解き×出会い恋
活イベント」1対1のペアター
ク、グループで謎解きをしな
がら交流を深めます。

▼持ち物 スマートフォン、本
人確認書類(運転免許証、保険
証など)
▼参加費 1,000円
(応募フォームにて事前決済)
▼定員 男性10名、女性10
名※申込多数の場合は抽選
▼申込 10月16日(月)
午前10時00分まで

※申込、詳細につきましては、左
記QRコードよりご確認ください。



○お問い合わせ先
最上町まちづくり推進室
☎4312261

○主催
最上広域婚活実行委員会

▼行政相談日時・場所
①令和5年11月6日(月)
13時30分～15時00分
②令和5年12月1日(金)
10時00分～15時00分
最上町中央公民館



○お問い合わせ先
行政相談員
浅井真(細の原)
☎4312512

毒きのこによる
食中毒に注意しましょう

県内では、毒きのこを食用
きのここと誤認して食中毒にな
るケースが毎年のように発生
しています。きのこ狩りの際は、
特に次の点に注意しましょう。

(1)きのこは、食用と確実に
分かっていものしか採らな
い・食べない
(2)安易に譲り渡したり、
譲り受けたりしない
(3)きのこを食べて、吐き気
やしびれ等の体調不良が見ら
れた場合は、残品を持って早
急に医療機関で受診する

◇県内では、特にツキヨタケ
やクサウラベニタケによる食中
毒が発生しています。

JR東日本
列車運休のお知らせ

陸羽東線「鳴子温泉駅」新
庄駅間で、日中帯の列車を
運休し線路修繕集中工事を行
います。そのため、以下の日
時において一部列車が運休と
なります。代行バスはありま
せんので、ご利用の際は、朝
夕の列車をご利用ください。

▼運休日◇10月3日(火)
◇6日(金)◇10月10日(火)
◇13日(金) 合計8日間

▼運休列車・運休区間
◇鳴子温泉駅13時08分発↓新庄
駅14時12分着
◇新庄駅12時58分発↓鳴子温泉
駅14時02分着

○お問い合わせ先
JR東日本
お問い合わせセンター
☎050-2016-1600

ろうきんと最上町との
提携ローン
「生活応援ローン」

最上町と東北労働金庫が提
携し低利で融資する制度で
す。

▼使いみち 生活資金全般・
自動車購入・教育資金・医療
介護費・冠婚葬祭費・家電購
入費等、広くご利用いただけ
ます。但し、事業資金、投機
目的資金、負債整理資金は除
きます。

法の日週間記念行事
無料電話法律相談

▼開催日時 10月5日(木)
午前10時00分～午後3時00分

▼相談方法
電話相談
0231-666-3053
0231-62916750

○お問い合わせ先
山形県弁護士会事務局
☎0231-62212234
fax
☎0231-63513685

令和5年度山形労働局委託 高齢者活躍人材確保育成事業

シルバー人材センター

募集中!

シルバー会員：60歳以上の働く意欲のある元気な皆さんの
入会をお待ちしています。
活用企業：人手不足をシルバーの力で解消してみませんか。

皆様のご希望をお聞きし、
仕事を紹介いたします!!

公益社団法人 新庄・最上地域
シルバー人材センター

〒996-0084 新庄市大手町2番60号 TEL.0233(22)3065
公益社団法人 山形県シルバー人材センター連合会
〒990-0041 山形市緑町一丁目9-30 緑町会館3階 TEL.023-626-3566

LIXIL 窓インプラス

昨今、光熱費・燃料代が高騰しています
窓を二重にして断熱性能を高めると
冷暖房効率がアップ!
しかも省エネに!
1年中おトクに、
快適に暮らせます

今ある窓に
取付けるだけ
最短1時間
1窓あたり

お見積り無料

丸徳ふるせ営業部 TEL:0233-43-2366

解体工事

のことなら
大場組 にお任せください!

申請手続き・補助金申請・近隣挨拶などもお手伝いいたします。
もちろん、見積無料!お気軽にお問合せください。

お問合せ先
株式会社 大場組 0233-44-2424
担当 長瀬 (080-2813-9578)

「車いすのまま乗車できる」 レンタカー あります!

■乗車定員6名(車いすも無料貸出中)
■特別価格にて貸出中(4時間4,000円より～)

※貸出には予約が必要です。
まずはご来店、またはお電話ください。

(有)オートランドカナダ(☎46-2530) 志茂206-1

令和5年度
「森の案内人養成講座」

開催日時・内容

③11月5日(日)
秋の講座
(フナの森自然講座) など

④2月18日(日)
冬の講座
(クラフト講座) など

会場

山形県遊学の家(金山町大字有屋176-1)

▼その他 ◇高校生以上でボランティアが可能な県内在住のかたならどなたでも参加できます。(参加無料)。参加は各回20名程度。2講座以上受講で終了証を発行します。※開催日の1週間前までお問合せください。

○参加申込・お問い合わせ先
山形県最上総合支庁
森林整備課森づくり推進室
森づくり担当
☎291-3550

令和5年度狩猟者登録

▼日時 10月11日(水)
午後1時30分～午後3時30分
▼場所 最上総合支庁 203会議室
▼提出書類 ◇狩猟者登録申請書(当日202会議室で配布)◇写真2枚(3.0cm×2.4cmのもの)
◇狩猟事故共済保険契約者証又はハンター保険加入証◇銃

砲所持許可証◇狩猟免許◇狩猟税の軽減に関する書類 ●ア、県民税の所得割を納付することを要しない旨の証明書 ●イ、対象鳥獣捕獲員であることを証する証明書

▼登録手数料 登録する種類ごとに、8000円

○お問い合わせ先
最上総合支庁
保健福祉環境部環境課
☎291-2855

住宅リフォーム
支援事業補助金
受付の再開について

予算額に達したため新規受付を中止しておりました最上町住宅リフォーム支援事業費補助金につきまして追加受付を行います。申請が予算額を上回った場合には抽選会を行います。

申請受付期間

10月3日(火)から10月10日(火)までの平日

申請受付場所

最上町役場 建設水道課

▼受付する事業名と予定件数 ◇「最上町住宅リフォーム支援事業補助金」5件程度
①移住世帯・新婚世帯・子育て世帯分(補助率1/3、上限30万円)②それ以外の一般世帯分(補助率1/5、上限24万円)
※要件を満たす申請が予算額を上回った場合には抽選会を行い、内定者及び補欠順位を

決定します。 ※該当する工事は、交付決定日後に工事に着手するもので、工事完了後の申請はできません。また、令和6年2月29日までに実績報告書を提出していただきます。

※提出書類等詳細は、最上町ホームページ「新着情報」または建設水道課住宅水道室にお問い合わせ下さい。

○お問い合わせ先
建設水道課
☎43-2015

第55回
最上町総合芸術文化祭

▼日程 ◇一般公募展 10月18日(水)から24日(火)◇合同展示発表 10月27日(金)から30日(月)◇生け花展 10月27日(金)から29日(日)◇茶道発表会【裏千家茶道教室】10月28日(土)◇舞台発表会 11月5日(日)◇茶道発表会【表千家翠和会茶道研究会】11月5日(日)◇文化講演会 11月11日(土)

▼場所 最上町中央公民館
皆さまの来場をお待ちしております!

○お問い合わせ先
最上町教育委員会
生涯学習室
☎43-2350



生活支援コーディネーターレポート
『やんばいもがみ』

このコーナーでは、まちづくり、集落づくり、生活支援などの様々な視点で、自主的な活動を行っている団体や活動を、「生活コーディネーター」(社会福祉協議会)が紹介します。

『アフターコロナから、みんながみんならしく』

最近、みなさんは、おしゃべりを楽しんでますか?
新型コロナウイルス感染拡大から3年以上が経ちました。5類になり、3年間にわたって続いた多方面の制約が解除され、社会は本格的な「アフターコロナ」を迎えました。コロナ禍で、再三協議を重ねては中止になっていた「シルバード育レクリエーション大会」が、7月7日(金)3年ぶりに開催されました。第48回を数えるこの大会の目的は、参加者同士の親睦を深めることです。この日は、大会運営者・協力者を含め200名を超える町内在住者が集い、競技はもちろんのこと、久しぶりの出会いにおしゃべりもはずんでいました。

手は、お互いを称えながら、その精神の輪が広がり、おしゃべりがはずんでいました。コロナ禍の制約が解除されたことで、おしゃべりの場もこれから増えていくことと思います。
生活支援コーディネーターは、みんながみんならしい生活を送ることができよう「おしゃべりの場」を提供し続けていきます。

また、第9回を迎えた「老人クラブ輪投げ大会」も8月8日(火)開催されました。輪投げは「輪で、話と、和を」の精神を大切にしているスポーツだそうですね。大会自体は、上位2チームが県大会に出場するため真剣な大会なのですが、集まった約100名の参加選



▲「第9回老人クラブ輪投げ大会」の様子

最上町の人口
8月 戸籍の窓口

全人口	7,650人	(うち、外国人90人)
男	3,757人	(うち、外国人12人)
女	3,893人	(うち、外国人78人)
世帯総数	2,775世帯	
生まれた人	3人	
亡くなった人	12人	
転入	6人	(うち、外国人 0人)
転出	11人	(うち、外国人 0人)
前月比	14人減	

選挙人名簿登録者数(令和5年9月1日現在)

男	3,301人	
女	3,385人	合計 6,686名

薬王堂と一緒に働きませんか?

山形最上店
スタッフ募集中!

従業員優待
いつでも
WAICAポイント
5倍 賞与支給あり

ライフスタイルに合わせてシフトが選べる!

下記お問合せ先または採用HPからお気軽にご応募ください。

〈お問合せ先〉
TEL 0120-901-815

〈採用HP〉
https://www.yakuodo.co.jp/recruitment/

スマホから簡単応募

社会福祉法人 豊寿会
HOJUKAI

スタッフ大募集

就職支度金制度あります
令和6年度大幅基本給アップ予定
紹介者への報奨制度あり
未経験者大歓迎

★詳しくはこちら法人採用情報HP

〈勤務先〉 紅梅荘・ふれあい学園・やすらぎ・さくら
〈募集職種〉 介護員・支援員、看護職員

お問合せ先 法人事務局：紅梅荘
TEL：0233-43-3661 FAX：0233-43-3663

統計調査についてお知らせします

統計は未来を支えるおくりもの

今年度は住宅・土地統計調査が行われています！

住宅・土地統計調査は5年ごとの統計調査で、人が居住する建物の実態を調査し、住生活関連諸施策の基礎資料を得ることを目的としています。

得られる具体的な数値としては、住宅数・空き家数・持ち家率・一戸建の延べ面積・持ち家の取得方法・借家の家賃・高齢者世帯の借家率・バリアフリー化率・耐震化診断率・住居の土地所有率・宅地などの取得方法などがあります。空き家数を例にとると、2018年の調査では全国に848万9千戸の空き家が存在し、空き家率は13.6%であることがわかりました。他にも高齢者住宅のバリアフリー化率は42.4%などの結果が得られており、これらは空き家対策や高齢社会におけるバリアフリー推進の基礎資料などに利用され、みなさまがより暮らしやすくなるような社会の実現に活用されています。



全国の農林業実態を明らかに！5年に一度の農林業センサス！



農林業センサスは農林業の生産構造や就業構造、農山村地域における土地資源など農林業・農山村の基本構造の実態とその変化を明らかにし、農林業施策の企画・立案・推進のために行なう調査です。5年ごとに、農林業を営んでいる全ての農家を対象に調査が行われ、令和6年度がその年に当たります。

具体的な調査結果の利用方法としては、地方交付税の算定や特定農山村地域の認定、経営所得安定対策や地域資源の保全管理政策などの基礎数値としての活用などがあります。

歴史は100年以上！国の最も重要な統計調査、国勢調査。

国勢調査は、大正9年（1920年）の調査開始以来、国の最も基本的で重要な統計調査として前回調査の令和2年に100年の節目を迎えました。5年ごとに、国の人口、就業状態、世帯員の数、住居の種類などの項目について、日本国内に住む全ての人を対象に調査が行われます。

この調査で得られた結果は、医療費や年金額の算定、避難所などの防災計画への活用、民間企業の出店計画などに利用されており、我々にとって最も身近で関係がある調査と言えます。



10月18日



統計の日

統計調査員を募集しています！

来年度、全国で一斉に行なわれる「農林業センサス」、令和7年度に実施される「国勢調査」の調査員を募集しています。仕事をされている方でも、都合のつく方や意欲のある方であれば大歓迎です。40名ほどの調査員を募集しています。統計調査で「未来を支えるおくりもの」を自分や家族に届けましょう。調査員の詳細については下記までお問い合わせください。

最上町統計調査員協議会
事務局 総務企画課 まちづくり推進室 43-2261